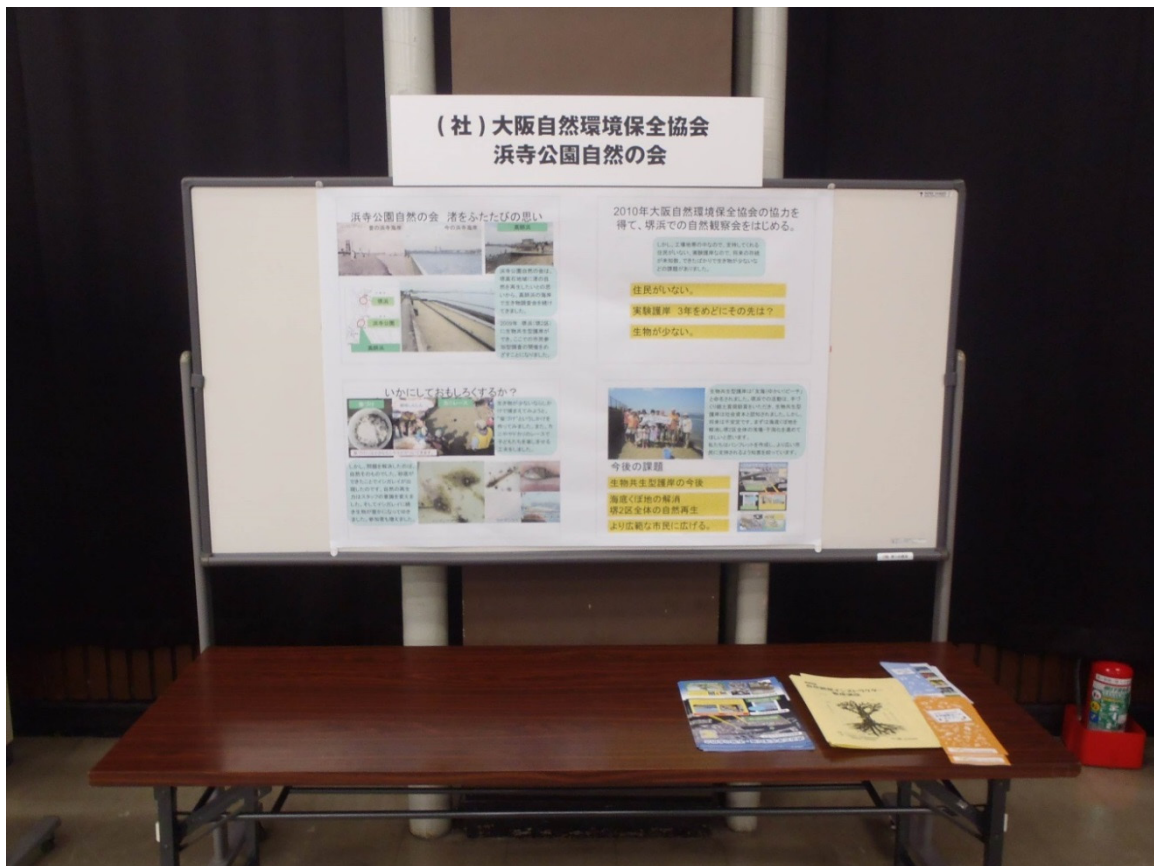


「堺浜・友海（ゆかい）ビーチ・自然再生ふれあいビーチ」

における環境教育と普及活動

(社)大阪自然環境保全協会 浜寺公園自然の会



浜寺公園自然の会 渚をふたたびの思い



浜寺公園自然の会は、堺高石地域に渚の自然を再生したいとの思いから、高師浜の海岸で生き物調査会を続けてきました。

2009年 堺浜(堺2区)に生物共生型護岸ができ、ここでの市民参加型調査の開催をめざすことになりました。

2010年大阪自然環境保全協会の協力を得て、堺浜での自然観察会をはじめめる。

しかし、工場地帯の中なので、支持してくれる住民がいない、実験護岸なので、将来の存続が未知数、できたばかりで生き物が少ないなどの課題がありました。

住民がいない。

実験護岸 3年をめどにその先は？

生物が少ない。

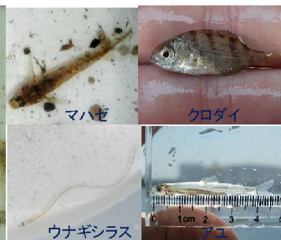
いかにしておもしろくするか？



生き物が少ないならしかけて捕まえてみよう、"柴づけ"というしかけを作ってみました。また、カニやヤドカリのレースで子どもたちを楽しませる工夫をしました。

柴づけには小さなカニやエビがついてきます。

しかし、問題を解決したのは、自然そのものでした。砂底ができたことでイシガレイが出現したのです。自然の再生力はスタッフの意識を変えました。そしてイシガレイに続き生物が豊かになってゆきました。参加者も増えました。



生物共生型護岸は「友海(ゆかい)ビーチ」と命名されました。堺浜での活動は、手づくり郷土賞奨励賞をいただき、生物共生型護岸は社会資本と認知されました。しかし、将来は不安定です。まずは海底くぼ地を解消し堺2区全体の浅場・干潟化を進めてほしいと思います。私たちはパンフレットを作成し、より広い市民に支持されるよう知恵を絞っています。

今後の課題

生物共生型護岸の今後

海底くぼ地の解消
堺2区全体の自然再生

より広範な市民に広げる。

